

2012年8月期 第3四半期決算サマリー

連結業績

(単位：億円)

	2011年8月期	2012年8月期					
	3Q累計実績 (2010/9~2011/5)	3Q累計実績 (2011/9~2012/5)		3Q実績 (2012/3~2012/5)		通期予想 (2011/9~2012/8)	
		9ヶ月累計	前年同期比	3ヶ月	前年同期比	前期比	前期比
売上高	6,520	7,435	+14.0%	2,180	+12.0%	9,295	+13.3%
売上総利益 (売上比)	3,391 52.0%	3,839 51.6%	+13.2% ▲0.4p	1,154 53.0%	+14.6% +1.3p	4,765 51.3%	+11.9% ▲0.6p
販管費 (売上比)	2,345 36.0%	2,646 35.6%	+12.8% ▲0.4p	878 40.3%	+12.4% +0.1p	3,450 37.1%	+11.5% ▲0.6p
営業利益 (売上比)	1,045 16.0%	1,193 16.0%	+14.1% +0.0p	275 12.6%	+22.5% +1.0p	1,315 14.1%	+13.0% ▲0.1p
経常利益 (売上比)	996 15.3%	1,188 16.0%	+19.2% +0.7p	252 11.6%	+14.7% +0.3p	1,310 14.1%	+22.3% +1.0p
当期純利益 (売上比)	534 8.2%	725 9.8%	+35.8% +1.6p	147 6.8%	+25.5% +0.8p	790 8.5%	+45.3% +1.9p

グループ事業別業績

(単位：億円)

		2011年8月期	2012年8月期					
		3Q累計実績 (2010/9~2011/5)	3Q累計実績 (2011/9~2012/5)		3Q実績 (2012/3~2012/5)		通期予想 (2011/9~2012/8)	
			9ヶ月累計	前年同期比	3ヶ月	前年同期比	前期比	前期比
国内ユニクロ事業	売上高	4,821	5,032	+4.4%	1,386	▲1.0%	6,215	+3.6%
	営業利益 (売上比)	910 18.9%	927 18.4%	+1.8% ▲0.5p	204 14.7%	▲1.2% ▲0.1p	1,045 16.8%	▲1.6% ▲0.9p
海外ユニクロ事業	売上高	736	1,225	+66.4%	377	+61.1%	1,570	+67.5%
	営業利益 (売上比)	97 13.2%	136 11.1%	+40.4% ▲2.1p	21 5.8%	+19.8% ▲2.0p	160 10.2%	+78.7% +0.6p
グローバルブランド事業	売上高	944	1,159	+22.7%	410	+33.8%	1,480	+19.3%
	営業利益 (売上比)	79 8.4%	134 11.6%	+68.5% +3.2p	55 13.4%	+97.2% +4.3p	145 9.8%	+65.0% +2.7p

【決算ハイライト】

■第3四半期累計連結業績：売上高 7,435 億円、前年同期比 14.0%増、営業利益 1,193 億円、同 14.1%増、純利益 725 億円、同 35.8%増の大幅な増収増益を達成。

■国内ユニクロ事業：第3四半期3ヶ月間では、売上高は 1,386 億円（同 1.0%減）、営業利益は 204 億円（同 1.2%減）と減収減益。春物を在庫を絞り込んだことで端境期の販売が伸び悩んだこと、また、3月から5月までの3ヶ月間の気温が低く推移したことにより、夏物商品の動きが鈍かったことから、既存店売上高が同 5.4%の減収。粗利益率は前年比で改善したが、営業利益は若干の減益。

■海外ユニクロ事業：第3四半期3ヶ月間では、売上高は 377 億円（同 61.1%増）、営業利益は 21 億円（同 19.8%増）と増収増益を達成。アジア地区では堅調な増益トレンドが続いているものの、米国では、ニューヨーク 34 丁目店、およびソーホー店が計画を下回る売上となっていることから、米国ユニクロ事業の赤字幅が拡大。

■セオリー事業：日米ともに既存店の増収、増益トレンドが続く。

■ジーユー事業：3月30日にオープンした銀座店の波及効果により、3月以降、既存店増収率が4割アップ。目標の年商 500 億円は7月1日に突破、今期は営業利益 50 億円を予想。

■通期の連結業績予想：売上高 9,295 億円、前期比 13.3%増、営業利益 1,315 億円、同 13.0%増、当期純利益 790 億円、同 45.3%増を予想。1株当たり利益は 775.65 円の予想。

■配当金：年間配当金については、既に実施した1株当たり中間配当金 130 円と、期末配当金の 130 円をあわせて、260 円と予想。

## ■ 国内ユニクロ事業

連結売上高の 67.7%を占める国内ユニクロ事業の第3四半期9ヶ月間における売上高は 5,032 億円（前年同期比 4.4%増）、営業利益は 927 億円（同 1.8%増）と増収増益になりました。そのうち、当第3四半期3ヶ月間では、売上高は 1,386 億円（同 1.0%減）、営業利益は 204 億円（同 1.2%減）と減収減益でした。4月12日に発表いたしました予想に対して、売上高で 100 億円、営業利益で 30 億円下回る結果となっております。

上期では、ヒートテック、ウルトラライトダウン、暖パンをはじめとする冬のコア商品の販売が好調で、同期間における既存店売上高は前年比 2.3%の増収でしたが、第3四半期3ヶ月間の既存店売上高は同 5.4%の減収でした。この要因としては、春物在庫を絞り込んだことで端境期の販売が伸び悩んだこと、また、気温が低く推移したことにより夏物商品の動きが鈍かったことがあげられます。第3四半期3ヶ月間における売上高総利益率は、綿花などの素材価格上昇の一巡と円高メリットによる原価率改善、また、春物の値引き販売の減少により、前年同期比 1.5 ポイント上昇しております。

出店につきましては、スクラップ・アンド・ビルドによる店舗の大型化を進めており、第3四半期9ヶ月間では 24 店舗を出店し、18 店舗を閉店した結果、5月末の店舗数は 849 店舗（フランチャイズ店 21 店舗を含む）となりました。

この春夏シーズンでは、夏の機能性インナー（サラファイン、シルキードライ）のラインアップを図り、ウィメンズであればサラファインブラトップ、メンズであればシルキードライステテコといった商品の販売が好調に推移しております。特に今年は、「ステテコ」の色柄を 80 と大幅に増やし、“夏を快適に過ごすインナー兼ルームウェア”として人気が高い商品となっております。また、ウィメンズの「イージーレギンスパンツ」はレギンスの快適な着心地を残しながら、パンツらしく見えるデザインで、幅広い年齢層のお客様からご好評を得ております。

通期の国内ユニクロ事業の業績予想は、第3四半期の下ぶれ分、及び6月分を反映させ、売上高を 120 億円、営業利益は 65 億円修正し、売上高 6,215 億円、前期比 3.6%増、営業利益 1,045 億円、同 1.6%減へと修正いたしました。

## ■ 海外ユニクロ事業

海外ユニクロ事業の第3四半期9ヶ月間の売上高は前年同期比 66.4%増の 1,225 億円、営業利益は同 40.4%増の 136 億円と、大幅な増収増益を達成いたしました。中国、台湾、韓国を中心に新店を加速し、第3四半期9ヶ月間では 98 店舗を出店（4 店舗閉店）、5月末の海外ユニクロ事業全体の店舗数は 275 店舗まで拡大いたしました。

当第3四半期3ヶ月間においては、売上高は前年同期比 61.1%増の 377 億円、営業利益は同 19.8%増の 21 億円と、増収増益を達成しております。アジア地区を中心に好調な既存店売上高の伸びが続いていること、中国、台湾、韓国を中心に大量出店が継続していることから、大幅な増収基調が続いております。収益面においては、アジア地区では堅調な増益トレンドが続いているものの、米国では、ニューヨーク 34 丁目店、およびソーホー店が計画を下回る売上となっていることから、米国ユニクロ事業の赤字幅が拡大しております。

通期の海外ユニクロ事業の業績予想は、売上高 1,570 億円、前期比 67.5%増、営業利益 160 億円、同 78.7%増を予想しています。

## ■ グローバルブランド事業

グローバルブランド事業の当第3四半期9ヶ月間における売上高は、前年同期比22.7%増の1,159億円、営業利益は同68.5%増の134億円、そのうち、当第3四半期3ヶ月間の売上高は、同33.8%増の410億円、営業利益は同97.2%増の55億円と大幅な増収増益を達成いたしました。

セオリー事業は日米ともに既存店売上高の増収が続き、計画を上回る増益を達成しております。ジーユー事業は、3月30日にオープンした銀座店の波及効果により、3月以降の既存店増収率が4割アップとなり、目標として掲げておりました「年商500億円」を7月1日時点で突破いたしました。1店舗当りの売上高が拡大したことにより、収益性も改善し、通期では50億円の営業利益を予想しております。今後も、グローバルブランド事業の柱の事業として高い成長が期待されております。

コントワー・デ・コトニエ事業は計画通りの増収増益を達成し、プリンセス タム・タム事業の業績は計画を下回り、減収減益となりました。

グローバルブランド事業の通期の業績は、売上高1,480億円、前期比19.3%増、営業利益145億円、同65.0%増を予想しています。

## ■ 1株当たり利益は775.65円、年間配当260円を予想

2012年8月期の連結業績は売上高9,295億円、前期比13.3%増、営業利益1,315億円、同13.0%増、経常利益1,310億円、同22.3%増、当期純利益790億円、同45.3%増を予想しております。通期の1株当たり利益は775.65円となる見込みです。年間配当金については、既に実施した1株当たり中間配当金130円と、期末配当金の130円をあわせて、260円を予想しております。

IR情報 <http://www.fastretailing.com/jp/ir/> に決算データや各種リリースなどを開示しております。